

## 自由民主党バス議員連盟総会が開催されました

令和4年3月9日（水）、自民党本部リバティ2・3において自由民主党バス議員連盟総会が開催されました。

日本バス協会からは、南副会長のほか、宮本貸切副委員長、中倉貸切副委員長、福村貸切委員、西村貸切委員、渡邊貸切委員等が出席しました。

冒頭、バス議連会長・逢沢先生からの、貸切バスの現状の確認と展望を開くための議論が必要との挨拶があり、続いて当協会・南副会長から、議連開催への謝意を述べるとともに、乗合バス・貸切バス事業とも経営が大変厳しく危機的な状況にあることを説明。最近の燃料高騰で民間の自助努力も限界。事業存続のため支援を強く求めました。さらに宮本貸切副委員長は、コロナによる需要消失で貸切事業者は雇調金を頼りに何とか存続している苦境を訴え、GoToの早期再開と制度の充実（団体枠や上乘せなど）などを求めました。また、現場のバスガイド2名も出席し、コロナ禍で仕事がない状況が続くことへの不安と苦しみを語り支援を訴えました。



ご出席の先生方からは、再開後のGoToは団体旅行や貸切バスに裨益するような制度にすべき、公共交通が存続できるよう雇調金ではない政策支援を考えるべき、など多くのご発言をいただき、国土交通省からは、コロナ禍を持ち堪えてもらうための各種の補助は使い勝手を良くしていく（祓川自動車局長）、再開後の

GoTo制度は基本方針を発表した昨年11月以降の状況変化を踏まえ検討していく（村田観光庁次長）、などの発言がありました。

最後にバス議連として、コロナ終息後も観光やビジネスを支えるバスが事業を継続できるよう政府は必要な支援を実施すべき、との決議がなされ、逢沢会長から、この決議を活かしてしっかりと取組んでいく旨の挨拶があり終了しました。

【出席の先生方 59名】